

**■日本航空宇宙学会北部支部2010年講演会  
ならびに第11回再使用型宇宙推進系シンポ  
ジウム**

3月11日(木) 東北大学工学研究科 青葉記念館で開催された日本航空宇宙学会北部支部2010年講演会並びに第11回再使用型宇宙推進系シンポジウムの企画セッション「航空宇宙における飛行実証—大樹町・能代的话题を中心に—」に大樹町から企画課地域振興係長が参加、「宇宙のまちづくり～大樹町～」と題して大樹町のこれまでの取り組みと実験実績、これからの希望を紹介、大学による多目的航空公園の実験利用をアピールしました。

**■きぼう利用フォーラム札幌セミナー**

3月4日(木) 北海道大学学術交流会館(札幌市)を会場に「きぼう利用フォーラム札幌セミナー」が開催され、大樹町からも企画課地域振興係長がパネルディスカッションに参加、大樹町多目的航空公園を紹介するとともに国際宇宙ステーションISS日本実験棟「きぼう」の利用について、将来の宇宙旅行・宇宙ホテルにつながるよう宇宙で食料生産、保存技術を高める研究をと提言、他のパネラーから宇宙クッキングの提案もあり、北海道らしく食と健康を中心としたディスカッションとなりました。

**■宇宙開発関連講演会／モデルロケット教室**

10月31日(土) 大樹町福祉センターを会場に赤平市の(株)植松電機植松努専務を招いて宇宙開発関連講演会とモデルロケット教室を開催しました。講演会は町内外から約70名が参加、「思うは招く」～夢があれば何でもできる～と題し、子どものころからの夢をあきらめずに追いつけることの大切さ、「どうせ出来っこない」をなくし「こうやってみたら」と考える生き方を薦めました。

モデルロケット教室は火薬を用いた本格的なもので、約1時間で作製、多目的航空公園に移動して打上げました。カウントダウンとともにスイッチを入れるとブシュー！と音を立て煙を残して空高く打ちあがり、上空でパラシュートが開きゆっくり降下、17機すべて回収しました。



**■60th IAC2009Daejeon出展**

10月12日(月)～16日まで韓国大田(デジョン)市で開催された第60回国際宇宙会議(International Astronautical Congress)国際宇宙展にNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)が出展するのに伴い、大樹町もメンバーとして職員一名が参加、大樹町を候補地としてHASTICが提案する北海道スペースセンター構想図や、米ロケットプレーン社の宇宙旅行機、赤平市の50m落下塔などをパネルで紹介するとともに、室内で手軽に1秒間の無重力実験ができるEZ-Space IIの実演展示を行い、世界各国から参加した航空宇宙関係者及び韓国の子供たちの注目を集めました。



日本からの出展はJAXA、九州航空宇宙開発推進協議会とHASTICの3団体でした。



## ■第12回ペットボトルコンテストIN大樹

8月2日(日) 歴師川清流まつり会場で第12回ペットボトルロケットコンテストIN大樹が開催されました。

雨雲が低くたれこめるあいにくの天候でしたが、自作ロケット50機が集まり、規定競技、自由競技に熱戦を繰り広げました。

横浜などから長期体験学習で訪れている小学生12人も参加、上位に入賞し副賞の豚井セットなどをゲットしました。



## ■子ども長期宿泊体験十勝・食農キャンプ

8月1日(土) 南十勝長期宿泊体験交流協議会などが7月30日から開催している十勝・食農キャンプ一行12名と引率者など21名が多目的航空公園でJAXA宇宙科学研究本部阪本成一教授の講演「宇宙をめざせ」を聞きました。ロケットの歴史から月の模様の話、かぐやの映像など楽しく聞かせていただきました。

講演のあとペットボトルロケットを製作、滑走路で飛ばしました。



## ■2009サイエンスパーク

7月29日(水) 独立行政法人科学技術振興機構(JST)、北海道主催の「2009サイエンスパーク」が、サッポロファクトリーを会場に開催され、昨年に続きHASTIC、十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会とともに大樹町も出展しました。

午前10時の開場から夏休みの親子連れが大勢来場、道立の各種研究所や試験場などのブースで生きた魚に触れたり紙工作をしたり楽しく学んでいました。私達のブースはCAMUI(カムイ)ロケット実機、大気球の模型の展示と室内で約1秒の微小重力実験ができる「イージスペース」の実演に注目が集まりました。

また、宇宙飛行士が着るフライトスーツを着て記念撮影コーナーにも人気が集まりました。この日は日本宇宙少年団(YAC)大樹分団の一行56名も来場、北海道の科学技術を知る1日になりました。



## ■第27回ISTSつくば大会

7月5日(日)~12日(日)までつくば国際

会議場及びJAXA筑波宇宙センターを会場に開催の第27回宇宙技術および科学の国際シンポジウム国際宇宙展示会に、大樹町はHASTIC・十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会とともに出展し、大樹町多目的航空公園などを紹介しました。

7月5日(日)正午、土井隆雄宇宙飛行士・YACつくば分団員らによるテープカットで国際宇宙展がオープン。家族連れなどで賑わい、北海道の宇宙開発を展示している私達のブースも大勢来場してくれました。



### ■北海道の宇宙開発展

北海道内各地で展開されている宇宙開発の取り組みを一同に展示する「北海道の宇宙開発展」が、6月8日～10日までの3日間、道庁1階ロビーで開催されました。

CAMUI (カムイ) 型ハイブリッドロケットや、超小型衛星HITSAT、超音速機風洞モデルなど道内で展開されている各種の研究、取り組みを展示、大樹町も主催者の一員として参加、町内で実施されている大気球実験の1.5m大気球モデルや多目的航空公園で実施された各種の実験をパネルで紹介、来場者の注目を集めていました。

道によると期間中840名の来場がありました。

